

障がいのある人の雇用に取り組む



株式会社ワタナベ美装 (京都市山科区)

「京都はあとふる企業」です



【主な事業内容】

総合ビルメンテナンス

【障がいのある人の主な仕事】

清掃業務(掃き掃除、掃除機かけ、拭き掃除、ごみ回収など)

今回は、障がいのある人が働く京都薬科大学のキャンパスを訪問させていただきました。

【障がい者雇用の経緯】

知り合いに頼まれて、25年以上前から障がい者の雇用はしてきました。しかし、なかなか定着しない状況が続きました。就労支援センターの連携が得られるようになり、数年前から安定してきました。現在、2名の精神障がい者と1名の身体障がい者の3名が働いています。仕事は外回りの掃き掃除、掃除機での建物の床掃除、机・黒板等の拭き掃除、ごみ回収などです。



【定着支援に取り組んで】

定着が課題となっていた7年前に、滋賀県のアビリンピック(障害者技能競技大会)で、競技を通して成長していく障がい者の姿に感動しました。その時、適切なサポートがあれば成長していくことに気が付き、就労支援センターと連携し定着支援に取り組み始めました。

【Ｙさんに聞きました】

3年目です。高校の時、精神障がいを発症しました。大学卒業後、老人ホームで働きましたが上手くいかず、就労支援センターに通っていた時、たまたま社長さんに会いました。その縁で働くことになりました。

実習を2回受けましたが、優しく丁寧に教えていただきました。また、最初は週4日16時間の勤務から少しずつ伸ばしてきました。仕事を覚える時間が充分あり、ストレス少なく慣れることができ良かったです。

朝、大学の外周の掃除から始め、ごみ回収や授業終了後の教室の清掃(机、黒板、床)をします。毎日の清掃のパターンは基本的に決まっていますので、やるべき事を自分でイメージし易く有難いです。体を動かすことが好きだし、ご飯が美味しく食べられるのが良いです。

30歳位までに結婚したいと思っています。

就労支援センターに登録し、特性に合わせたサポートを受けられるようになりました。職場でも、出来る作業から始めて、苦手な作業は練習していくなど、個人に合わせた工夫しています。協会の清掃の勉強会にも参加しています。

雇用率10%を目指したいと考えています。

